



エコアクションニュース

NISHINOMIYA 2011 VOL.12 2011.12

発行：エコアクション事務局
〒662-0832 西宮市甲風園1丁目8-1
西宮市環境学習サポートセンター内
TEL 0798-67-4520
FAX 0798-67-4523
企画：NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)

地球にやさしい買い物は文具店や市内量販店のサービスコーナーで押してもらえます！

「エコチェック」は自分の生活を自己チェック！期間を決めて取り組めば 7 活動クリア！



15活動集まれば、エコアクション事務局に送ってください。



地震・津波・台風などの自然災害、人間の活動が原因と言われる異常気象、地球温暖化、エネルギー問題、人権、平和…さまざまな問題が日々起こっています。そのような問題に対して私たちは意識せずに何らかのアクションや反応を起しているはず。そのアクションを目に見えるものに、多くの人と共有しようというシステムが「市民活動カード」です。よりよい社会を次世代に引き継ぐために、市民活動カードを活用しませんか？

西宮市では、現在 17カ所でエココミュニティ会議が設置されています。その中から一部活動を紹介します。

浜脇・香櫨園エココミュニティ会議

7月23日、西宮市貝類館の講師の指導のもと、「貝の標本作り」をしました。エココミュニティ会議のメンバーは子どもたちを手助けし、きれいな標本作品ができました。参加者 33名。

また、8月27日には夙川河口の生物調査を行いました。参加者 35名。貝、魚、カニなど初めて見る生きものたちもいて、身近な場所にたくさんの小さな生きものが暮らしていることに驚きました。



山口エココミュニティ会議

11月12日、13日に「西宮フラワーキャラバン in 山口」が行われ、同時開催された「環境パネル展 in 山口」に山口町自治会連合会(山口エココミュニティ会議)も協力しました。

「環境パネル展 in 山口」には、山口地域の小・中学校(北六甲台小学校・山口小学校・山口中学校)の環境に関する作品等も展示されました。また、有馬川緑道で、西宮市オリジナルサクラ3本の記念植樹も行いました。



「環境パネル展 in 山口」では市内の生物、自然についての展示もあり、いろんな生きものと共に暮らすことが大切だと学びました。



「はい！
ホテルを手でさわったことがありますか？
……」



上ヶ原南エココミュニティ会議

6月4日、上ヶ原南小学校で上ヶ原南小学校の児童・保護者対象の「ホテル学習会」を行いました。最初に、西宮自然保護協会の三宅氏より、ホテルの一生やゲンジボタル・ヘイケボタルの見分け方、オス・メスの見分け方等について教わった後、西宮市環境学習推進グループの職員から市内でのホテル観察ポイントや観察時の注意点について話を聞きました。参加者は、とても熱心に聞かれており、「さっそくホテルを見に行きます！」という感想をいただきました。参加者 65名。

大社エココミュニティ会議

大社エココミュニティ会議では、地域を知り、防災にも役立つことを目的に、11月5日「親子で歴史探検」を行いました。あいにくの小雨でしたが、約30名の参加がありました。大社小学校区にある西田公園は2000年前の弥生時代の住居跡が発見された場所であることや1200年前の平安時代に詠まれた歌から、昔は広田のあたりまで海であったことなど、歩きながら地域を再発見しました。



説明を聞いたからクイズがあります。正解者にはかわいいシールをはりますよ！

広田神社にある看板の前で語り部倶楽部のメンバーから説明を聞きました。

中学校の活動から

甲武中学校「一夏一善の取り組み」

「一夏一善」の取り組みが始まり10年になります。当初は、総合的な学習を活用し、「地域に開かれた学校」作りを目指して始められました。今ではボランティア活動として学校、保護者、地域が一体となって取り組んでいる本校の伝統的な夏の行事です。はじめに各地域や施設からの活動を係が取りまとめます。その後、生徒たちが行きたい活動を選択し参加しています。活動は公園の清掃活動、夏祭りの「よさこいソーラン」、ラジオ体操手伝い、地域や小学校での灌水の手伝い、夏祭りの手伝いなど多岐に渡っています。また、1年生ではいくつかの福祉施設の高齢者の方々に毎年暑中見舞いを送っています。今年、甲東エココミュニティ会議との連携によって市民活動カードを持って参加しました。市民活動カードにスタンプを押してもらい一段と楽しく参加できたようです。この取り組みで生徒たちは地域の一員であることを実感し、奉仕の精神や思いやりの心を保護者や地域の方々と共に育てています。(甲武中学校教頭)



夏祭りのテントの設営



夏祭りでのごみの管理



福祉施設での演奏会

子どもたちの感想 ・お祭りの裏側を見て、自分が楽しむためには実はたくさんの人の力を借りていることが分かりました。今回参加した一里山地蔵盆も含めて、西宮にはたくさんのお祭りがあります。そのひとつひとつにたくさんの人が善意で協力していると思うと、西宮は温かい街だと思いました。(一里山地蔵盆準備の手伝い)
・最初は周りにもポスターがたくさん貼ってあったので、あまり見てもらえないと思っていましたが、みんなで夏っぽい絵にしたり、いろんな工夫をして見てもらえるように頑張りました。そうすると、私が一里山の桜並木を歩いていると、見てくれている人を何人も見ました。それを見て、とてもうれしくて、いろいろ工夫して頑張った良かったと思いました。(一里山地蔵盆ポスター作り)
・朝早くからこんなに多くの人があるのだとびっくりしました。小さい子からお年寄りの方まで来て、最後の日には「ご苦労様でした」と言われて、最後の日まで頑張った良かったと思いました。(段上東公園ラジオ体操の手伝い)
・畑ではきちんと整えているところと、放置され雑草がすくすく生えているところとの差が大きかったけど、約2時間30分かけて雑草をぬき、水やりをしました。最初とは全然違うくらいすっきりとしていたので、達成感があり、いい経験ができたと思いました。(すばる福祉会の手伝い)

「持続可能な地域づくり」をすすめるために

「持続可能な地域づくり・サポート基金・にしのみや」により、
＜大人と中学生の市民活動カードの活動数＞、＜各エココミュニティ会議のある地域の小学生のエコカードに集まったエコスタンプ数＞を合わせた数×10円 の金額が地域のエココミュニティ会議の活動資金に提供されます。

*活動支援金提供には諸条件があります。詳細は「持続可能な地域づくりサポート基金・にしのみや管理運営委員会事務局」まで
NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF) TEL: 0798-69-1185 FAX: 0798-69-1186